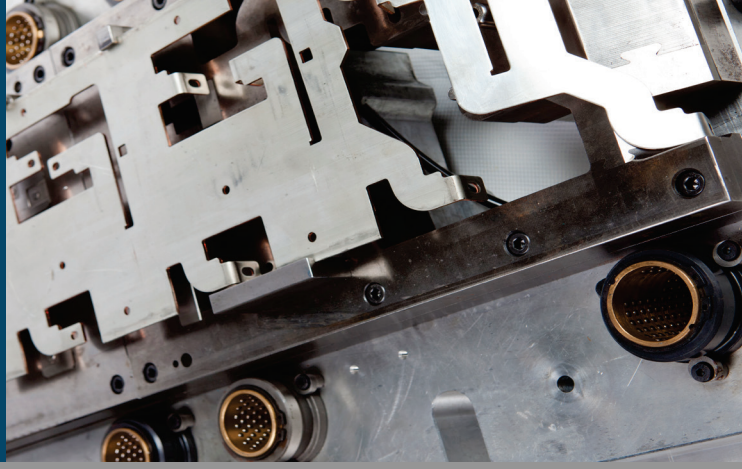
HEXAGON

VISI Progress

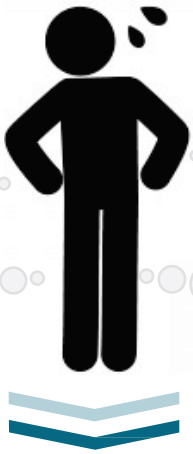
Hexagon.com



プレス金型設計のオールインワンソリューション

製品モデルが3D形状の為に
展開形状作成に時間がかかる

絞り形状の展開が
思うようにできない



スプリングバックの問題を
事前に確認できないか

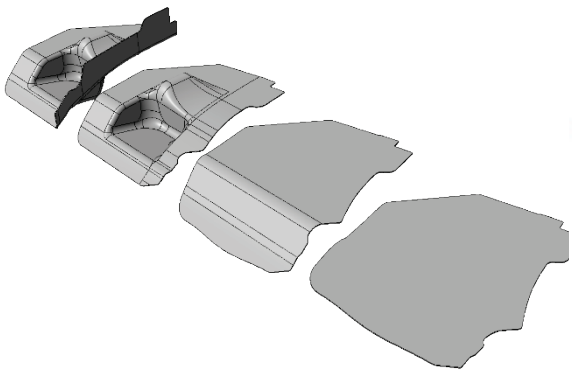
金型設計の３次元化と
時間短縮がしたい

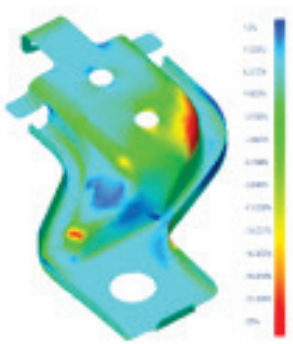
プレス金型設計の悩みはVISIで全て解決できます

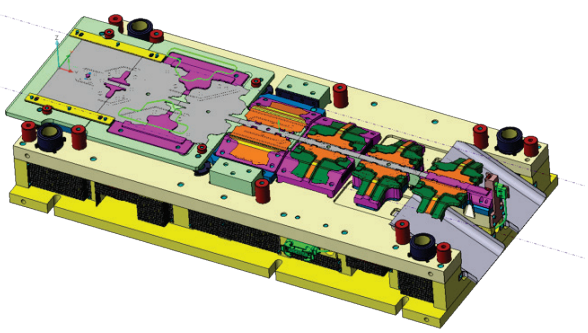
① 3Dモデルの展開：基準面を選択するだけで、平面部と曲げ部を自動認識。 曲げを選択し、展開角度を入力するだけで、中立値を考慮した形状を簡単に作成できます。フランジ曲げも同様に、指定した角度で展開形状を生成します。ブランク形状は、材料をワンクリックで選択するだけで作成可能です。

② スプリングバック解析と見込み変形：ブランク計算に使用した材料特性と金型設計の要件を考慮したスプリングバック解析形状を作成。モーフィング機能を使用すれば、解析結果を利用して、製品形状のスプリングバック見込み形状を自動作成します。

③ 金型設計と加工：お客様自身がデータベースを構築、蓄積することにより3D金型設計の作業性が向上します。設計後の編集では、部品を選択してパラメータ修正するだけで、即座に形状が変更されます。設計したプレートに加工属性が付加されるため、自動加工にも対応します。

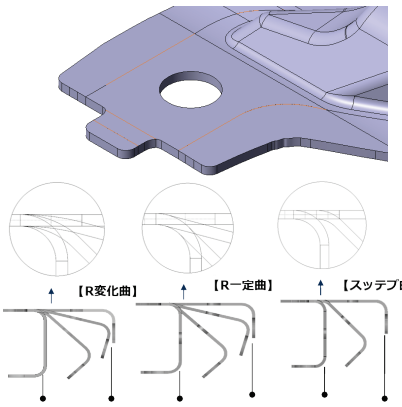




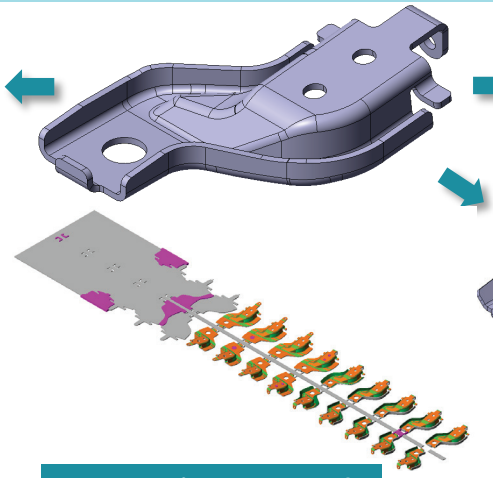


■ 製品モデル展開ソリューション

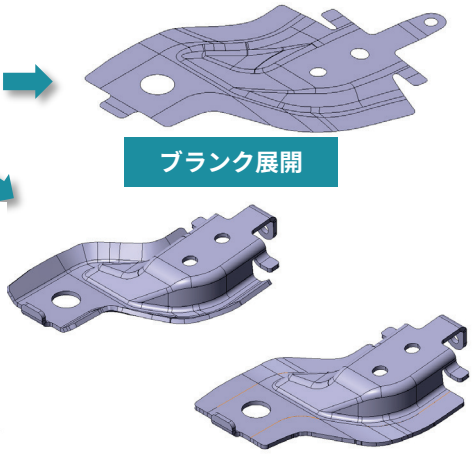
様々な展開機能でモデルのレイアウト検討形状を作成、レイアウトの検討確認が3Dモデルで可能。
作成した形状を使用してスケルトン形状の作成も可能になり設計ミスを削減。



線形曲げ展開



ストリップレイアウト設計



ブランク展開

フランジ展開

■ スプリングバック解析、見込み変形ソリューション

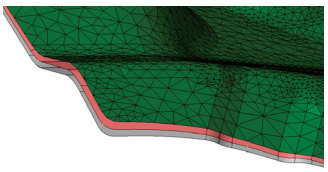
材料特性と設計条件を考慮したスプリングバック解析によりトライの回数を削減。
モーフィング機能を使用して見込み形状を自動作成する事により、モデル修正時間を短縮。



スプリングバック解析



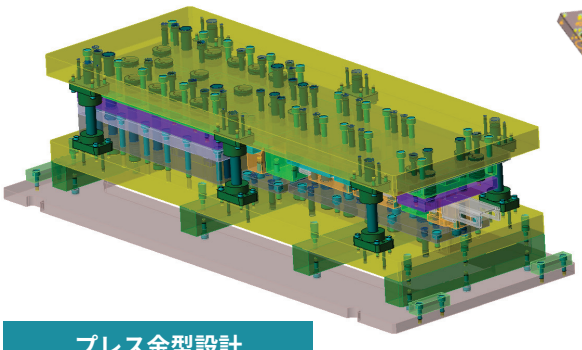
見込み形状作成



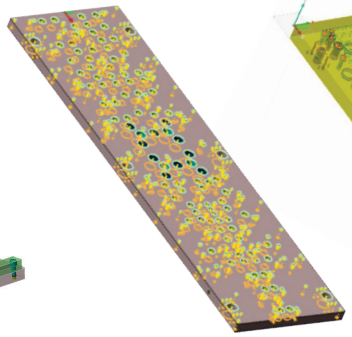
変形部拡大図

■ 金型設計製造ソリューション

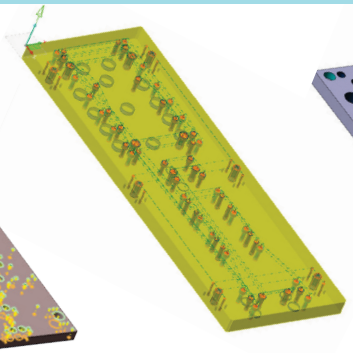
標準データベース登録で作成時間を大幅に短縮、各社独自のデータベースを構築して、設計の標準化を実現しました。プレートのフィーチャを自動認識し、登録済み加工方法で加工データを自動作成します。ワイヤー放電加工もフィーチャ認識に対応し、加工データの作成時間を短縮できます。



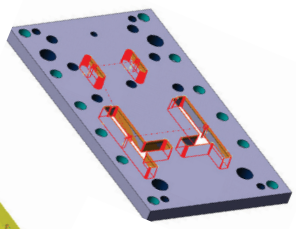
プレス金型設計



フィーチャ自動認識



2.5D加工



ワイヤー加工

■ ユーザー様の声

- 中立の値と角度を設定するだけで展開形状の作成が可能となり、設計時間を短縮できた。
- 材料を選択するだけで展開長を加味したブランク展開ができるようになり、トライ回数が削減できた。
- スプリングバックの形状解析が可能になり、モーフィング機能によって見込み形状の作成も簡易化した。
- 自社の設計方法に合わせた型構造を利用できたので、設計の工数を削減できた。詳細な金型設計も簡単だった。

太陽メカトロニクス株式会社
〒392-8585　長野県諏訪市四賀107　TEL : 0266-53-4000　FAX : 0266-53-8818
E-mail : info@taiyom-ind.co.jp
URL : https://taiyom-ind.co.jp